

消防訓練礼式

県下の消防職員が一丸となって臨んだ訓練礼式。歩幅を合わせ、呼吸を合わせ、皆が一つになることで素晴らしい足音を奏でます。礼節を重んじ、規律を正し、わちゆうきょうどう和衷協同[※]して団結を強固にします。

※心を合わせ、共に力を合わせ、物事を行うこと



救助訓練

災害において救助活動は場所を選べません。さまざまな場所にも対応できるよう、建物等の上へ、下へ、そして横へと渡り、三連はしご等を用いて要救助者の元へと駆けつけます。

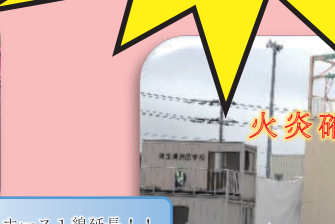


機器取扱訓練

消防活動に必要なさまざまな資機材を駆使して、いかなる災害にも対応できるよう、知識や技術を最大限に発揮し、災害に立ち向かわなければなりません。



大規模火災により傷病者が多数発生している災害現場においては、いかに迅速に活動し、二次災害を防ぎ、被害を最小限度に抑えられるかが問われます。初任科生が総力を結集して臨む総合想定訓練です。



総合想定訓練

一斉放水~

